

【令和4年度輸出先国・地域における規制等への対応の強化委託事業

(プラットフォーム支援員による体制強化)】

概要レポート 第8回：EUの漁業規則



Eurovision & Associates

2023年11月

背景：EU の漁業管理制度は、環境にやさしく、経済的に実行可能で、社会的に責任のある持続可能な漁業と養殖業を確保することを主な目的としている。この目的の実現を通して、栄養豊富な魚介食品が EU 市民に継続的に提供される。漁業管理規則における主な措置は以下の通り。

- ①アクセス措置：漁業事業者、漁業場を記したライセンス導入
- ②漁業規模管理措置：漁船のサイズや稼働力といった要素を基にした漁業規模の統制
- ③技術措置：社会的責任のある漁を実現するための装備や方法のガイドライン設置
- ④漁獲監視措置：EU の漁船団の追跡

これらの措置は EU によって定められているものの、規則遵守の管理は各 EU 加盟国、もしくは、EU 加盟国に属する管轄当局に委ねられている。現在、EU は最新の技術を取り入れ、漁業管理システムの監視能力を向上させているが、新たな課題に対処するために、このシステムを改訂する提案がなされている。本レポートでは、2018 年に欧州委員会によって提案された漁業に関する管理規則 1224/2009 と違法漁業 (IUU) に関する規則 (以下 IUU 規則) 1005/2008 の改正提案内容と改正を巡る動向、近年導入された CATCH システムについて説明するものである。

管理規則と IUU 規則の改正提案：漁業管理規則に関する一連の改正は、欧州グリーンディールの下での共通漁業政策(CFP)改革の一部である。この規則改正目的は、規則を時代の変化に合わせたものにする、規則そのものの明確化である。これらの適応までの準備期間は、項目にもよるが発表から 2-5 年が目処となる。以下が主な改正内容である。

管理規則 1224/2009 に関する主な改正¹

- ① 加盟国による漁業事業者の監視強化：
 - ・漁獲能力を把握するための事業者の漁船のエンジンパワー記録装置の船内取り付けやギアの寸法と仕様の把握
 - ・遊漁行為の登録管理や 18m 以上の漁船に対する監視カメラの設置義務(船上遠隔監視システム:REM)
 - ・サテライトなどの技術を用いた漁船の位置情報の把握
- ②トレーサビリティの向上：
 - ・電子日誌による漁獲量の正確性保証
 - ・特定の水産物と捕獲した漁船を電子上で関連付け
- ③制裁の標準化：
 - ・罰金が課される重大な違反に関する標準リストの導入
 - ・制裁金は水産物の価値に基づいて設定し、加盟国間での制裁金額の価格統一

尚、本改正において、実際の漁獲量と電子上で記録された漁獲量の相違に関して 10%までの誤差が許容されている。②に記載のある電子日誌による漁獲量データに関しては以下内容の記載の義務化が提案されている。また、これらの情報記載義務は、EU 域内外の漁船に対して適応されることも併せて検討されている。

¹ <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX:32009R1224>

・電子日誌の記載内容

- ①漁船名
- ②出入港日時と漁獲期間
- ③漁獲地域と日時
- ④ギアの仕様とサイズ
- ⑤推定漁獲重量(kg) (可能な場合は個体数量)
- ⑥水揚げ義務の対象でない魚介類の推定廃棄重量 (kg)

IUU 規則 1005/2008 における主な改正項目²

- ① 漁獲証明書のデジタル化：事務処理効率化や、不正輸入、リスクを基にした管理を実現するためのデータベース（CATCH システム）の導入。
- ② 深刻な違法漁業行為の定義：管理規則 1224/2009 第 90 条に記載されている行為を IUU に反すると規定
- ③ 違法漁業行為の実施漁船を EU 加盟国が拘束した場合の対応：EU 加盟国は、管理規則 1224/2009 代 85 条に基づいて、制裁行為、法的措置を実行。

これらの規則の改正は、持続可能な漁業、データの正確性向上、EU による取締りを統一するものである。2023年5月には、デジタルトレーサビリティと漁船追跡に関する例外の適用が合意された。尚、今回の改正にて漁獲証明書の内容について、漁獲した魚介類の明記とその正味の重さの記載が追加となった³。

本改正は、EU 域内の漁業管理と認証基準の統一、製品のトレーサビリティ強化、乱獲に効果的に取り組むことを目的としている。EU と水産物を取引する非 EU 加盟国は、これらの新しい認証基準に合わせる必要がある⁴。EU 閣僚理事会と欧州議会は、サプライチェーンにおける水産・養殖製品（生鮮・冷凍）の追跡デジタル化を支持している。しかし、加工品については、欧州委員会が効果的なトレーサビリティの選択肢の検討に時間を要しており、加工品追跡のデジタル化適応は5年間の延期となった⁵。これらの変更は、信頼性の高いデータ、EU 諸国間での統一的な実施、管理業務の軽減に重点を置いている。

管理規則と IUU 規則に関する欧州議会の改正案：上述の欧州委員会による提案を受けて、2021年3月に欧州議会が自らの立場に基づく改正案を採択した⁶。主な改正内容は、事業者の規則遵守を目的とした講習の定期受講の義務化、第三国の検査官による EU からの漁船の検査を想定した第三国と EU の漁船検査項目の共有、などである。一方、IUU 規則の主な改正内容は、漁船による漁業日誌や追跡

² <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX%3A02008R1005-20110309>

³ <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX%3A02008R1005-20110309>

⁴ <https://www.consilium.europa.eu/en/press/press-releases/2023/05/31/council-strikes-deal-on-new-rules-to-combat-overfishing/>

⁵ [https://www.europarl.europa.eu/RegData/etudes/BRIE/2019/642281/EPRS_BRI\(2019\)642281_EN.pdf](https://www.europarl.europa.eu/RegData/etudes/BRIE/2019/642281/EPRS_BRI(2019)642281_EN.pdf)

⁶ <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/HIS/?uri=CELEX:52018PC0368>

措置の正確性向上を目的としたものとなっている。他にも、欧州議会は、データや検査規格、漁獲証明書の確認における欧州漁業管理団体の役割強化を支持している⁷。

これらの改正案の目的は、欧州漁業の透明性、持続可能性、社会的責任を向上させることで、魚介製品に対する信頼の構築と全ての漁船による適切な漁業実践を後押しすることである⁸。2023年10月に欧州議会によって一連の改正規則は承認された。本改正規則は、EU閣僚理事会による最終承認後、適用開始となる⁹。

IUU規則の対象に海藻類を追加：海藻類のIUU規則における新規追加について、欧州議会の漁業委員会は、海藻類が食品、飼料や、エネルギー資源になりうると考えており、再生可能な海洋資源としての可能性への期待によるものだとしている¹¹。一方で、欧州委員会は、海藻類が、EUのブルーバイオエコノミー、地域経済、二酸化炭素の削減に貢献するものだと考えている¹²。

EU漁業管理に関する利害関係者の意見は多様である。海洋資源や環境の保全のために漁業管理の推進を目指す多くのNGOで構成されたEU漁業管理同盟（EU Fisheries Control Coalition）は、漁業の持続可能性と適切な漁獲記録の推進、全長12メートル以上の漁船の追跡制度の必須化、罰則の標準化、データトレーサビリティの透明性のさらなる改善を求めている¹³。また、欧州経済社会委員会（EESC）は、監視カメラの漁船設置と資金調達について懸念を示している。加えて、EESCは、第三国によるEU規則の不遵守に対する対応や、トレーサビリティの推進、混合魚類の生物多様性保護の促進を強調している¹⁴。漁業者の業界団体である欧州連合漁業企業全国組織協会（Eurpêche）は、今回の決定が漁業従事者にとって有益でなければならないとしている。また、同団体は、マグロ類に関して、上述の電子上で記録された漁獲量と実態の漁獲量の許容誤差が、特殊な漁獲方法に適用していないことに関して懸念を表明している¹⁵。

さらに加盟国については、現在のEU閣僚理事会議長国であるスペインが、漁業管理に関して以下に焦点を当てている。

- ①環境への配慮
- ②漁業による食料安全保障の向上
- ③許容漁獲数量管理（TAC）の導入

⁷ [https://www.europarl.europa.eu/RegData/etudes/BRIE/2019/642281/EPRS_BRI\(2019\)642281_EN.pdf](https://www.europarl.europa.eu/RegData/etudes/BRIE/2019/642281/EPRS_BRI(2019)642281_EN.pdf)

⁸ https://www.europarl.europa.eu/doceo/document/A-9-2021-0016_EN.html

⁹ <https://www.seafoodsource.com/news/premium/environment-sustainability/european-parliament-approves-new-fisheries-control-rules-five-years-after-initial-proposal>

¹⁰ <https://www.europarl.europa.eu/news/en/press-room/20231013IPR07124/parliament-approves-new-eu-fisheries-control-rules>

¹¹ <https://www.europarl.europa.eu/cmsdata/262994/Trawler%20January%202023.pdf>

¹² <https://www.eumofa.eu/documents/20178/84590/blue+bioeconomy+report+2022+final.pdf/cb889d94-74a6-2c15-e136-4d2204118c6a?t=1673441855108>

¹³ <https://www.transparentfisheries.org/our-work/>

¹⁴ <https://www.eesc.europa.eu/en/our-work/opinions-information-reports/opinions/fisheries-control>

¹⁵ <https://europeche.chil.me/post/political-agreement-on-new-fisheries-control-rules-442464>

2023年1月、スペインのプラナス農林水産食品大臣は、加盟国を代表して発展した技術の必要性や持続可能な漁業を保証するための投資について強調した¹⁶。また、同大臣は許容漁獲量の設定を推進しており、EU閣僚理事会は2022年12月に2023年からTACを導入することに合意した¹⁷¹⁸。一方で、イタリアは、地元の漁業を保護し、国内漁業を促進する立場からTACをはじめとするこうした一連のEU主導の漁業政策に反対している¹⁹²⁰。

漁獲証明書（CATCH）システム: EUの魚介類輸入にあたり、法的信頼性を得る上で、CATCHと呼ばれるデジタルシステムが重要な役割を果たす。本システムは、不正の減少、リスクベースによる管理、事務的負担の軽減にも有用である。CATCHは2019年5月に規則1005/2008を基に、EUの漁獲証明の完全デジタル化を目的としたシステムとして設置された。EU加盟国によってこのシステムは主に使用されている。一方で、第三国も、事務的負担軽減を背景に使用が許されており、関連当局が第三国のアクセスを承認している。将来的には、CATCHにリスクアラートやその他文書の保管機能の追加が検討されている²¹。CATCHシステムには、上述の一連の証明書を作成、保管するデータベース、リアルタイムでの輸入管理システム、さらには、漁獲証明書に記載された申告数量の虚偽申告を事前に発見するためのリスク分析や数量管理システムなどのツールも含まれている。また、CATCHシステムは別のデータベースとも連携している。例えば、TRACES NTはCATCHシステムと連動している²²。本システムは、EU産の魚介類を加工して製造された製品をEU域内に再輸入する場合にも有効である。なぜなら、輸入者は、EU域内へのあらゆる輸入魚介製品の証明書一式の提出義務があるためである。

結び: EUの漁業管理に関する規則改正は、EUの違法漁業行為に対する強い姿勢が、持続可能性や事務的負担の軽減などといった目的よりも色濃く反映されている。これは、IUU規則に代表される違法、もしくは未報告漁業に焦点を当てた規則が詳細に定められていることからわかる。漁業管理に関する一連の改正規則は、2023年末にEU閣僚理事会で最終承認された場合、2024年1月に正式に適用される予定である²³。本規則の承認後は、基本的に、EUの領域内で漁を実施する業者はEUが定める漁業規則の遵守が求められることになるだろう。これは、EUへの水産品の輸出に対しても同様で、輸出に関しては、製品のトレーサビリティに関する規則の遵守が該当する。EUの漁業管理規則において、トレーサビリティと漁の実施管理は密接に関連していることから、この二点を念頭に置きながらEUとの水産物貿易を継続していく必要がある。

¹⁶ <https://www.euractiv.com/section/agriculture-food/news/exclusive-spains-agriculture-minister-sets-out-eu-presidency-priorities/>

¹⁷ <https://spanish-presidency.consilium.europa.eu/en/programme/agriculture-fisheries-spanish-presidency-eu-council/>

¹⁸ <https://www.consilium.europa.eu/en/policies/eu-fish-stocks/tacs-and-fishing-opportunities/>

¹⁹ <https://data.consilium.europa.eu/doc/document/ST-11053-2023-INIT/en/pdf>

²⁰ https://www.seafood.media/fis/worldnews/search_brief.asp?l=e&id=124403&ndb=1&monthyear=&day=&country=0&df=1

²¹ https://oceans-and-fisheries.ec.europa.eu/system/files/2019-06/catch-it-system_en.pdf

²² https://unece.org/fileadmin/DAM/trade/agr/meetings/OtherMtgs/eQuality_June2020/TRACES_NT_-_Demo_10.06.2020.pdf

²³ <https://www.seafoodsource.com/news/premium/environment-sustainability/european-parliament-approves-new-fisheries-control-rules-five-years-after-initial-proposal>